

教科 【 理科 】

■生徒の状況

- ・多くの生徒が理科に対する興味・関心をもっているが、分野によってはその意欲に差が見受けられる。
- ・実験結果から考察し、日常生活との関連を見付けることを苦手としている。

■指導における課題

- ・学習内容と日常生活の事物・現象との関連付けについて考えさせること。
- ・表やグラフなどの結果を多角的にみて考え、考察を書かせること。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

<u>視点1</u> 板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	・めあての提示→自力解決→集団解決→まとめ・振り返りを基盤とした1時間の授業の流れと、アウトプット型のめあてを提示し、授業のゴールを明確に意識させる。 ・単元を考慮し、実験や問題演習等、生徒自身が一時間に取り組むことを、自ら考え選択し実施する授業を取り入れていく。 ・小單元ごとに100字程度の文章での振り返りを書かせ、読み解く力の育成をめざす。
<u>視点2</u> ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	・振り返りや考察、レポート課題などをGoogle ドキュメントやCanvaなどを活用し、タブレットを用いて提出できるようにする。クラスルームを活用して提示する。 ・タブレット端末を通じて、興味のある生徒には追加データや専門的な情報を提示し、理解に時間を要する生徒にはヒントカードを提供する。 ・実験にて各グループが得た測定値をスプレッドシート等にリアルタイム入力、実験結果の比較を行い、深い理解や新たな疑問の創出へつなげる。
<u>視点3</u> 総合的な学習の時間との連携	・単元で学んだ科学的概念が、社会でどう使われているかという「実社会との繋がり」を実感させる活動を単元末に授業へ取り入れる。 ・昨今の水害や自身などの自然災害に絡めて、ハザードマップを活用した環境・防災教育に関する探究学習を取り入れていく。